

# 【 第4回 U-22東アジア選手権 】

2016年7月3日～7月10日 中国・蘇州

## 試合結果報告 7 月 8 日 ( 金 )

| J P N | V S | T P E (中華台北) |
|-------|-----|--------------|
| 9     | 前半  | 13           |
| 16    | 後半  | 16           |
| 25    | 合計  | 29           |

### 個人得点

| 名前        | 前半 | 後半 | 第1延長 | 第2延長 | 合計 |
|-----------|----|----|------|------|----|
| 高光 凌      | 0  | 0  |      |      | 0  |
| 高野 颯太     | 1  | 2  |      |      | 3  |
| 浅川 律樹     | 0  | 0  |      |      | 0  |
| 部井久 アダム勇樹 | 1  | 0  |      |      | 1  |
| 服部 将成     | 0  | 1  |      |      | 1  |
| 徳田 廉之助    | 4  | 7  |      |      | 11 |
| 藤川 翔大     | 0  | 0  |      |      | 0  |
| 村木 幸輝     | 1  | 1  |      |      | 2  |
| 山田 翔騎     | 1  | 0  |      |      | 1  |
| 藤田 龍雅     | 1  | 1  |      |      | 2  |
| 堀田 陽大     | 0  | 0  |      |      | 0  |
| 矢野 世人     | 0  | 4  |      |      | 4  |
| 助安 大成     | 0  | 0  |      |      | 0  |
| 若狭 圭悟     | 0  | 0  |      |      | 0  |
| 萩原 奨太朗    | 0  | 0  |      |      | 0  |
|           |    |    |      |      | 0  |
|           |    |    |      |      | 0  |
|           |    |    |      |      | 0  |
| 合計        | 9  | 16 | 0    | 0    | 25 |

### 戦評

U22東アジア選手権大会の3戦目は台北と対戦。相手のスピードに乗った攻撃をハードなコンタクトDFで食い止めること、高いディフェンスラインを体を張って突破していくことを確認して試合に臨んだ。試合開始早々、台北No.7を中心にスピードに乗った1対1に対応が遅れ、ポストを巧みに使われ連取を許す。ユース日本代表チームは、徳田を中心に相手の間を粘り強く攻撃。中盤は一進一退の攻防が続くが、日本にテクニカルミスが続きなかなかリズムに乗れないまま、22分7-11とリードを許す。その後日本に退場者が出るが、GK堀田を中心に粘り、数的不利な状況でNo.10山田がカットインで獲得した7MTを自らが決めるも、9-13で前半終了。後半も立ち上がりから3連取を許す苦しい展開。そこから一進一退の攻防が続いたところで、後半15分日本がディフェンスを高いシステムにチェンジする。ここから相手の攻撃を食い止めることに成功し、その間No.13矢野、No.7徳田らで5連取、後半21分20-23の3点差まで迫る。その後、相手に退場者が相次ぎチャンスが来るものの、数的優位の状態で失点が響き、なかなか点差を詰められない。終盤もNo.7徳田、No.2高野で追いすがるものの、最終的には25-29で敗戦となった。終始劣勢の展開の中、焦りからのミスが多く出てしまい、波に乗り切れない試合となってしまった。各局面におけるチームの約束事を徹底することを再確認し、次戦に臨みたい。

報告記入者：

所 努